愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	健康・スポーツ実習		
担当者(Instructors)	中川 貴光	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業では一般的にニュースポーツと呼ばれる比較的近代に考案されたスポーツに取り組む。具体的にはフットサル、アルティメット、タグラグビーなどである。これらのスポーツは年齢や性別が異なる集団でも安全に実施することができるという特徴がある。そのため、生涯スポーツや幼少期のスポーツとして扱われやすい。本授業ではこれらのスポーツに触れることにより、生涯にわたってスポーツを楽しむ心の素地の醸成やチームワーク、コミュニケーション能力を高めることを目的とする。よって、スキルの高さではなく主体的な授業参加を受講参加者には強く求める。また、「熱中症警戒アラート」やそれに近しい環境になり、担当教員が危険と判断した際は急な授業変更（シラバス通りにはならない）がある。その場合は受講生の成績に不利益が生じぬよう対応する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	実習講義
授業の方法(Class method)	晴天時はバスに乗ってグラウンドに移動して実施する。 雨天時は体育館にて実施するため、体育館シューズは必須である。 運動に適した服装で参加すること。 必ずピアス等は事前に外し、ネイル等の装飾は避けて授業に参加すること。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本授業の進め方を説明する	□
第2回	アイスブレイク	本授業で扱うスポーツの概要を学び、共に楽しむ仲間と打ち解ける	□
第3回	アルティメット①	アルティメットの基本的なルールを学ぶ	□
第4回	アルティメット①	アルティメットの基本的なスキルを学ぶ	□
第5回	アルティメット②	対人スキルを中心に学ぶ	□
第6回	アルティメット②	ミニゲームを実施し、試合の流れを掴む	□
第7回	アルティメット③	チーム分けを実施し、作戦の立案を行う	□
第8回	アルティメット③	立案した作戦を実行するための練習を集中的に行う	□
第9回	アルティメット④	チーム分けを実施し、総当たりのゲームを行う	□
第10回	アルティメット④	チーム分けを実施し、総当たりのゲームを行う	□
第11回	アルティメット⑤	チーム分けを実施し、総当たりのゲームを行う	□
第12回	アルティメット⑤	チーム分けを実施し、総当たりのゲームを行う	□
第13回	タグラグビー①	タグラグビーの基本的なルールを学ぶ	□
第14回	タグラグビー①	タグラグビーの基本的なスキルを学ぶ	□
第15回	タグラグビー②	対人スキルを中心に学ぶ	□
第16回	タグラグビー②	ミニゲームを実施し、試合の流れを掴む	□
第17回	タグラグビー③	チーム分けを実施し、作戦の立案を行う	□
第18回	タグラグビー③	立案した作戦を実行するための練習を集中的に行う	□
第19回	タグラグビー④	チーム分けを実施し、総当たりのゲームを行う	□
第20回	タグラグビー④	チーム分けを実施し、総当たりのゲームを行う	□
第21回	タグラグビー⑤	チーム分けを実施し、総当たりのゲームを行う	□
第22回	タグラグビー⑤	チーム分けを実施し、総当たりのゲームを行う	□
第23回	フットサル①	フットサルの基本的なルールを学ぶ	□

第24回	フットサル①	フットサルの基本的なスキルを学ぶ	□
第25回	フットサル②	対人スキルを中心に学ぶ	□
第26回	フットサル②	ミニゲームを実施し、試合の流れを掴む	□
第27回	フットサル③	チーム分けを実施し、作戦の立案を行う	□
第28回	フットサル③	立案した作戦を実行するための練習を集中的に行う	□
第29回	フットサル④	チーム分けを実施し、総当たりのゲームを行う	□
第30回	フットサル④	チーム分けを実施し、総当たりのゲームを行う	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各スポーツのルールを理解しておくことは必須である。適宜ルールブックや参考動画を配信するのでそれらを確認し理解しておくこと(週2時間程度)。 また、試合の感想や作戦の立案などを課題として出す場合がある(週2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎授業後に感想カードの提出を求める。そちらにコメント欄を設けており、そちらにフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化をスポーツの中で経験し、それを実際に行動に移すことができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々との身体活動を通じて自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

「授業内試験」として、ゲーム中のチームに対する貢献度を評価する。「その他」として授業態度、主体的な授業参加を評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	鈴木秀人「だれでもできるタグラグビー」日本ラグビーフットボール協会	978-4098401154
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		